



Title	「デンマーク語専攻の学生のためのスウェーデン語簡略文法」を目指して：人称代名詞，名詞と動詞の語形変化の基本
Author(s)	梅谷, 綾
Citation	IDUN -北欧研究-. 2019, 23, p. 159-170
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/71779
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「デンマーク語専攻の学生のためのスウェーデン語簡略文法」を目指して

人称代名詞、名詞と動詞の語形変化の基本

梅谷 綾

1. はじめに

本稿はタイトルのとおり、本校デンマーク語専攻の学生に向けたスウェーデン語簡略文法の作成を試みたものである。本稿ではページ数などの都合上、学生がこれまで学んできたデンマーク語の知識を活かしつつ辞書を用いてスウェーデン語で書かれたテキストを読解しようとする上で、まず把握しておきたい文法項目に的を絞って記すものとする。

2. 人称代名詞

スウェーデン語の人称代名詞は以下のとおりである。ここでは人称代名詞と同様に主格・目的格・所有格のある不定代名詞 man¹も表に含む。

人称	数・性		主格	目的格	所有格			再帰代名詞			
					共性	中性	複数				
1	単	私	jag	mig	min	mitt	mina	mig			
	複	私達	vi	oss	vår	vårt	våra		oss		
2	単	あなた	du	dig	din	ditt	dina	dig	再帰所有代名詞		
	複	あなた達	ni	er	er	ert	era		er	共性	中性
3	単	彼	han	honom	hans			sig	sin	sitt	sina
		彼女	hon	henne	hennes						
		それ(EN)	den	den	dess						
		それ(ETT)	det	det							
	複	彼ら/彼女達/それら	de	dem	deras						
不定代名詞		man	en	ens							

表 1. 人称代名詞一覧

発音の注意点としては、jag の g および det の t は話し言葉ではしばしば脱落して [ja:], [de:] と発音される。mig, dig, sig はそれぞれ [mej:], [dej:], [sej:] と発音され、児童文学や話し言葉調の文章では発音のとおり mej, dej, sej と綴られることもしばしばある。de と dem はどちらも [dɔm:] と発音し、こちらも発音のとおり dom と綴

¹ デンマーク語では不定代名詞 man と名詞 mand〈男性、夫〉は綴りが異なるが、スウェーデン語ではどちらも man と綴られる。

られることがある。

デンマーク語との相違点として、スウェーデン語では人称代名詞所有格の 1 人称と 2 人称において、単数のみならず複数でも関係する名詞の性・数によって語形変化する。また、再帰所有代名詞の *sin*, *sitt*, *sina* は 3 人称単数・複数の両方で使用される。

2.1. 性別不特定の 3 人称単数代名詞 *hen*

スウェーデン語には、近年使用例が増えてきている新しい人称代名詞がある。3 人称単数の性別不特定の代名詞 *hen* である。この *hen* は 2015 年出版の *Svenska Akademiens Ordlista* 第 14 版（以下 SAOL14）に新たに追加された。筆者の把握している限りではスウェーデン語の辞書や文法書でこの *hen* を取り上げているものはまだ数少ないが、現代スウェーデン語で書かれたテキストを読むにあたりぜひ把握しておきたい語である。SAOL14 に記載されている *hen* の定義および例文²は以下のとおりである（日本語訳は筆者による）：

1 *könsneutral benämning på person som är omtalad ev. implicit i sammanhanget*

<1（時に暗に）文脈中で言及されている人物の性別的に中立な呼び方>

läraren kan fritt välja vilken metod hen vill

<その教師は自分の好きなようにメソッドを自由に選ぶことができる>

om någon kör mot rött ljus, så blir hen bötfälld

<赤信号に向かって運転すると、罰金が科される>

2 *benämning på person som inte vill el. kan kategorisera sig som vare sig man el. kvinna*

<2 男性とも女性ともカテゴライズされたくない、またはできない人物を表す語>

なお、SAOL14 によると *hen* の所有格は *hens*、目的格は *hen* (*henom*) である。

3. 名詞の語形変化

デンマーク語と同様にスウェーデン語の名詞にも共性と中性という 2 つの性による区別がある。スウェーデン語とデンマーク語には共通する語³が多数存在し、そういった名詞は両言語で同じ性であることが多い。ただし綴りや意味に共通点があっても *en människa* <人間>と *et menneske* のように性が異なるものもある。スウェーデン語では共生名詞の不定冠詞が *en*、中性名詞の不定冠詞が *ett* であることから、本稿では共生名詞を EN 名詞、中性名詞を ETT 名詞と呼ぶ。表 2 はスウェーデン語の

² 引用文の文頭単語の頭文字が小文字になっており文末にピリオドが付いていないのは原文による。

³ 綴りが完全に一致して意味も同じもの、綴りに多少相違はあっても意味は同じもの、綴りは似ているが意味が異なるものなど。

名詞を、複数語尾を基準とした規則変化パターンで分類したものである。

性	分類	単数未知形	単数既知形	複数未知形	複数既知形	意味
EN	1	en flicka	flicka n	flickor	flickor na	女の子
EN	2a	en bil	bil en	bilar	bilar na	車
EN	2b	en pojke	pojke n	pojkar	pojkar na	男の子
EN	3	en student	student en	studenter	studenter na	学生
ETT	4	ett äpple	äpple t	äpplen	äpple na	りんご
ETT	5a	ett hus	hus et	hus	hus en	家、建物
EN	5b	en lärare	lärare n	lärare	lärar na	先生

表2. 名詞の規則変化一覧（既知形語尾は太字兼イタリック、複数形語尾は太字で表す）

名詞の語形変化については本稿では規則変化および一部の例外や主な不規則変化名詞を紹介するにとどめる。

3.1. 単数未知形から単数既知形

単数未知形から単数既知形への基本変化は以下のとおりである：

- ・語末が子音：EN 名詞なら **-en** を，ETT 名詞なら **-et** を付加する
en bil → bil**en** ett hus → hus**et**
- ・語末が母音：EN 名詞なら **-n** を，ETT 名詞なら **-t** を付加する
en flicka → flicka**n** ett äpple → äpple**t**

3.2. 単数未知形から複数未知形

スウェーデン語の名詞の複数語尾には **-or**、**-ar**、**-er**、**-n**、**-r**、**複数形語尾なし** の6種類があり、表2では **-r** 以外の5種類がみられる。どの分類になるかは主に名詞の性と語末、そして強勢の位置で判断する。

3.2.1. 単数未知形の語末で複数形の作り方が判断できる EN 名詞

EN 名詞で単数未知形の語末が **-a**、**-e**、または **-are** の場合は複数形の作り方に次のようなルールがある：

- ・語末が **a** の EN 名詞（分類 1）：語末の **a** を **or** に変える
en flicka → flick**or**
- ・語末が **e** の EN 名詞（分類 2b）：語末の **e** を **ar** に変える
en pojke → poj**kar**
- ・語末が「～する人/モノ」を表す **-are** の EN 名詞（分類 5b）：**複数形語尾なし**
en lärare → lärare

EN 名詞で語末が強勢のない **-er** の職業名においても複数形語尾なしのものがある。
en musiker <ミュージシャン> → musiker

3.2.2. 複数形の作り方が判断しづらい EN 名詞

上記の分類 1, 分類 2b, 分類 5b のいずれにも相当しない EN 名詞には -ar または -er を付加することで複数形をつくるものが多い：

- ・ **-ar** を付加するもの (分類 2a) :
en bil → **bilar** en hund <犬> → **hundar** en bro <橋> → **broar**
- ・ **-er** を付加するもの (分類 3) :
en student → **studenter** en katt <猫> → **katter** en miljö <環境> → **miljöer**

この 2 種類は綴りからはどちらに分類されるか判断が困難なものが多い。以下の特徴によってどちらに分類されるか判断できるものも一部ある：

- ・ 語末が -ing の EN 名詞は分類 2
- ・ 語末が -het, -nad, -tion の EN 名詞は分類 3
- ・ en student (e に強勢) や en miljö (ö に強勢) のように EN 名詞で強勢が第 2 音節以降にある借用語は分類 3

3.2.3. ETT 名詞の複数形

ETT 名詞の複数形は基本的に語末が母音か子音かで複数形の作り方が異なる：

- ・ 語末が母音の ETT 名詞⁴ (分類 4) : **-n** を付加
ett äpple → äpplen
- ・ 語末が子音の ETT 名詞 (分類 5a) : 複数形語尾なし
ett huss → hus

3.3. 複数未知形から複数既知形

複数未知形から複数既知形への変化は、複数未知形の語尾により以下のように分類することができる：

- ・ 複数未知形の語末が -r/-are : **-na** を付加。語末が -are の場合は e を落としてから **-na** を付加することに注意。
flickor → flickorna lärare → lärarna
- ・ 複数未知形の語末が **-n** (分類 4) : **-a** を付加 äpplen → äpplena
- ・ ETT 名詞で複数語尾なし (分類 5a) : **-en** を付加 hus → husen

3.4. 注意が必要な規則変化名詞

3.1~3.3 で扱った規則変化名詞のうち、次に挙げるものは変化語尾を付加する際に注意が必要である。

⁴ ただし ett kafé <カフェ> のように語末が強勢のある母音の借用語は複数形語尾が -er になる。

3.4.1. 強勢のない-er, -el, -en で終わる名詞

語末が強勢のない-er, -el の EN 名詞は単数既知形に変化させる際に **-n** のみを付加する。語末が強勢のない-en の EN 名詞および語末が強勢のない-er, -el, -en の ETT 名詞では単数既知形の語尾を付加する際に e が脱落する。これらの点はデンマーク語と異なる。

スウェーデン語	デンマーク語
en vinter <冬> → vint er <i>n</i>	en vinter <冬> → vint er <i>en</i>
en cykel <自転車> → cykel n	en cykel <自転車> → cykel en
en öken <砂漠> → ök en	en ørken <砂漠> → ørk en <i>en</i>
ett nummer <番号> → num er <i>et</i>	et nummer <番号> → num er <i>et</i>
ett exempel <例> → exem pl <i>et</i>	et ek se mpel <例> → ek se mp l <i>et</i>
ett tecken <印> → teck n <i>et</i>	et køk k en <キッチン> → køk k <i>en<i>et</i></i>

表3. スウェーデン語とデンマーク語における語末が-er, -el, -en の名詞の語形比較

また、語末が強勢のない-er, -el, -en の EN 名詞については、複数形にする際にも e が欠落する：

en vinter → vin**tr**ar en cykel → cyk**l**ar en öken → ök**n**ar

語末が強勢のない-er, -el, -en の ETT 名詞では、複数既知形に変化させる際に e が欠落する：

ett nummer → num**er***en* ett exempel → exem**pl***en* ett tecken → teck**n***en*

3.4.2. 強勢のある短母音+m/n で終わる名詞

語末が[強勢のある短母音+m/n]の名詞においては、変化語尾を付加する際に m/n を重ねる：

en vän <友達> → vännen, vänner, vännerna

ett rum <部屋> → rummet, rum, rummen

3.5. 主な不規則変化名詞

本節では規則変化には当てはまらない名詞を、複数形への変化でウムラウトを起こすものを中心に抜粋して挙げる。

en stad <町, 都市>, staden, städer, städerna	ett land <国>, landet, länder, länderna
en natt <夜>, natten, nätter, nätterna	en bok <本>, boken, böcker, böckerna
en man <男性 夫>, mannen, män, männen	en far <父>, fadern, fäder, fäderna
en mor <母>, modern, mödrar, mödrarna	en bror <兄弟>, brodern, bröder, bröderna
en son <息子>, sonen, söner, sönerna	en dotter <娘>, dottern, döttrar, döttrarna
en fot <足>, foten, fötter, fötterna	en hand <手>, handen, händer, händerna

en tand〈歯〉, tanden, tänder, tänderna	ett öga〈目〉, ögat, ögon, ögonen
ett öra〈耳〉, örat, öron, öronen	en sko〈靴〉, skon, skor, skorna
en ros〈バラ〉, rosen, rosor, rosorna	ett pris〈値段 賞〉, priset, priser, priserna
ett museum〈美術館, 博物館〉, museet, museer, museerna (語尾が-um の ETT 名詞)	

表 4. 主な不規則変化名詞

4. 動詞の語形変化

スウェーデン語の動詞の語形には不定詞, 現在形, 過去形, 完了分詞, 命令形, 過去分詞, 現在分詞の 7 形が存在する. デンマーク語と同様, スウェーデン語の動詞も基本的には人称・性・数による変化はしない⁵. 本稿ではページの都合上, 動詞の各変化形の用法よりも語形変化そのものに焦点を置くものとする.

4.1. 規則変化動詞 (分類 1~3)

規則変化動詞は以下の表 5 のように分類できる.

分類	不定詞	現在形	過去形	完了分詞	命令形	意味
1	tala	talar	talade	talat	tala!	話す
2a	stänga	stänger	stängde	stängt	stäng!	閉める
2b	åka	åker	åkte	åkt	åk!	(乗物で)行く
2c	höra	hör	hörde	hört	hör!	聞く、聞こえる
3	bo	bor	bodde	bott	bo!	住んでいる
特徴	語末が母音 (特に-a のものが多い)	語幹+ <i>-r/-er</i> (2cのみ 語幹=現在形)	<i>-de</i> 語幹+ <i>-te</i> <i>-dde</i>	語幹+ <i>-t</i> <i>-tt</i>	語幹 =命令形	

表 5. 動詞の規則変化一覧 (語幹は太字で, 変化語尾はイタリックで示す)

全ての分類において語幹=命令形である. デンマーク語の動詞では不定詞が e で終わるものが多いが, スウェーデン語では a のものが多い. 各分類の特徴は以下のとおりである:

- ・分類 1: 不定詞語末の a が語幹に含まれるもの. 新語はここに分類される.
- ・分類 2: 不定詞語末の a が語幹に含まれないもの.
- ・分類 2b: 分類 2 のうち語幹語末が p/k/t/s/x のもの. 過去形語尾が *-te* になる.
- ・分類 2c: 分類 2 のうち語幹語末が [強勢のある長母音+r/l] のもの. 語幹=現在形.
- ・分類 3: 語幹語末が長母音. 過去形語尾が *-dde*, 完了分詞語尾が *-tt* になる.

規則変化動詞は語幹に変化語尾を付加して変化させるため, どこまでが語幹かを見極めることが大切である. そのためにはまず現在形または過去形を覚えるとよい. 各変化形の特徴と変化語尾をまとめると次のようになる:

⁵ ただし過去分詞は形容詞と同様に修飾する名詞の性や数, 未知・既知により変化する.

〔不定詞〕

- ・語幹語末が子音の場合 (分類 2) : 語幹に *-a* を付加
stäng + -a → stänga **åk + -a → åka** **hör + -a → höra**
- ・語幹語末が母音の場合 (分類 1・3) : 変化語尾なし (語幹=不定詞)
tala → tala **bo → bo**

〔現在形〕

- ・語幹語末が母音の場合 (分類 1・3) : 語幹に *-r* を付加
tala + -r → talar **bo + -r → bor**
- ・語幹語末が子音の場合 (分類 2a・2b) : 語幹に *-er* を付加
stäng + -er → stänger **åk + -er → åker**
- ・語幹語末が[強勢のある長母音+r/l]の場合 (分類 2c) : 変化語尾なし (語幹=現在形)
hör → hör **tål → tål** <耐える>

〔過去形〕

- ・語幹語末が下記の 2 種類以外の場合 (分類 1・2a・2c) : 語幹に *-de* を付加
tala + -de → talade **stäng + -de → stängde** **hör + -de → hörde**
- ・語幹語末が p/k/t/s/x の場合 (分類 2b) : 語幹に *-te* を付加
åk + -te → åkte **köp + -te → köpte** <買った>
- ・語幹語末が長母音の場合 (分類 3) : 語幹に *-dde* を付加 **bo + -dde → bodde**

〔完了分詞〕

- ・語幹語末が単母音または子音の場合 (分類 1・分類 2) : 語幹に *-t* を付加
tala + -t → talat **stäng + -t → stängt** **åk + -t → åkt**
hör + -t → hört
- ・語幹語末が長母音の場合 (分類 3) : 語幹に *-tt* を付加 **bo + -tt → bott**

完了分詞は語末が t のため形の上ではデンマーク語の過去分詞と似ているが、完了形 (現在完了・過去完了) にのみ使用されるスウェーデン語特有の変化形であり、過去分詞はこれとは別に存在する。過去分詞については 4.3 を参照。

分類 1 はデンマーク語の規則動詞第 1 類と似ているが、命令形でも不定詞語末の a が脱落しないことに注意。また、分類 2 はデンマーク語の規則動詞第 2 類と似ているが、分類 2c の現在形は変化語尾が付かないことにも注意が必要である。

スウェーデン語		デンマーク語	
不定詞	現在形	不定詞	現在形
höra	hör	høre	hører
tåla	tål	tåle	tåler

表 6. 分類 2c の動詞の現在形とそれに相当するデンマーク語動詞の語形比較

4.2. 主な不規則変化動詞（分類4）

以下はスウェーデン語の主な不規則変化動詞（分類4）の表である。この表にない不規則変化動詞については清水・ラーション・當野（2016）のこと。

不定詞	現在形	過去形	完了分詞	命令形	意味
be	ber	bad	bett	be!	頼む, 乞う
bjuda	bjuder	bjöd	bjudit	bjud!	ふるまう, 招く
bli	blir	blev	blivit	bli!	～になる
bryta	bryter	bröt	brutit	bryt!	破る, 壊す
dra	drar	drog	dragit	dra!	引っばる
dricka	dricker	drack	druckit	drick!	飲む
dö	dör	dog	dött	dö!	死ぬ
flyga	flyger	flög	flugit	flyg!	飛ぶ, 飛行機で行く
få	får	fick	fått	få!	もらう, 手に入れる
förstå	förstår	förstod	förstått	förstå!	理解する
ge	ger	gav	gett / givit	ge!	与える
gråta	gråter	grät	gråtit	gråt!	泣く
gå	går	gick	gått	gå!	(歩いて) 行く
göra	gör	gjorde	gjort	gör!	する, 作る
ha	har	hade	haft	ha!	持っている
hålla	håller	höll	hållit	håll!	保つ
komma	kommer	kom	kommit	kom!	来る
le	ler	log	lett	le!	微笑む
ligga	ligger	låg	legat	ligg!	横たわっている
ljuga	ljuger	ljög	ljugit	ljug!	嘘をつく
låta	låter	lät	låtit	låt!	～させる, ～に聞こえる
lägga	lägger	la / lade	lagt	lägg!	横たえる
se	ser	såg	sett	se!	見る, 見える
sitta	sitter	satt	suttit	sitt!	座っている
sjunga	sjunger	sjöng	sjungit	sjung!	歌う
skina	skiner	sken	skinit	skin!	(太陽などが) 輝く
skjuta	skjuter	sköt	skjutit	skjut!	撃つ
skriva	skriver	skrev	skrivit	skriv!	書く
skära	skär	skar	skurit	skär!	(ナイフなどで) 切る
slippa	slipper	slapp	sluppit	slipp!	免れる
slå	slår	slog	slagit	slå!	殴る
sova	sover	sov	sovit	sov!	眠っている
springa	springer	sprang	sprungit	spring!	走る
stiga	stiger	steg	stigit	stig!	歩む
stjåla	stjål	stal	stulit	stjål!	盗む

stå	står	stod	stått	stå!	立っている
säga	säger	sa / sade	sagt	säg!	言う
sälja	säljer	sålde	sålt	sälj!	売る
sätta	sätter	satte	satt	sätt!	置く
ta	tar	tog	tagit	ta!	取る
vara	är	var	varit	var!	～である
veta	vet	visste	vetat	vet!	知っている
vinna	vinner	vann	vunnit	vinn!	勝つ, 勝ち取る
välja	väljer	valde	valt	välj!	選ぶ
äta	äter	ät	ätit	ät!	食べる

表 7. 主な不規則変化動詞一覧

不定詞⇔命令形（語幹）⇔現在形の語形変化については大半の不規則変化動詞が規則変化動詞の分類 2・3 と同じ変化をする。過去形や完了分詞への変化も、母音の交替など多少違いはあるが分類 2・3 と相似するものが多い：

- sälja : 現在形 säljer, 過去形 sålde, 完了分詞 sålt → 分類 2b と相似
- sätta : 現在形 sätter, 過去形 satte → 分類 2b と相似
- göra : 現在形 gör, 過去形 gjorde, 完了分詞 gjort → 分類 2c と相似
- se : 現在形 ser, 完了分詞 sett → 分類 3 と相似

4.3. 過去分詞

規則変化動詞の過去分詞への変化は以下の表 8 のとおりである。

分類	不定詞	過去形	過去分詞			意味
			EN 単数	ETT 単数	複数/既知	
1	tala	talade	talad	talat	talade	話された
2a	stänga	stängde	stängd	stängt	stängda	閉められた
2b	köpa	köpte	köpt	köpt	köpta	買われた
2c	höra	hörde	hörd	hört	hörda	聞かれた
3	sy	sydde	sydd	sytt	sydda	縫われた

表 8. 規則変化動詞の過去分詞

規則変化動詞では、過去形語尾の e を落とすと過去分詞の EN 単数形となる。過去分詞は形容詞と同様に、修飾する名詞の性と数、未知・既知によって変化する。スウェーデン語では形容詞の複数形・既知形の変化語尾は通常-a であるが、分類 1 の動詞の過去分詞のみ-e を付加する。一方で不規則変化動詞の過去分詞は次のように導き出すことができる。過去分詞は EN 単数形, ETT 単数形, 複数形/既知形の順で記す：

- ・完了分詞の語尾が-it : -it を-et に変えると過去分詞の ETT 単数形になる
skri^{va} の完了分詞 skrivit → 過去分詞は skriven, skrivet, skrivna <書かれた>

- ・過去形が分類 2a と相似：過去形語尾の e を落とすと過去分詞の EN 単数形になる
sälja の過去形 sålde → 過去分詞は såld, sålt, sålda <売られた>
- ・過去形が分類 2b と相似：過去形語尾の e を落とすと過去分詞の EN 単数形になる
sätta の過去形 satte → 過去分詞は satt, satt, satta <置かれた>
- ・過去形が分類 2c と相似：過去形語尾の e を落とすと過去分詞の EN 単数形になる
göra の過去形 gjorde → 過去分詞は gjord, gjort, gjorda <行われた, 作られた>
- ・完了分詞が分類 3 と相似：完了分詞と過去分詞の ETT 単数形が同形
se の完了分詞 sett → 過去分詞は sedd, sett, sedda <見られた>

4.4. 現在分詞

現在分詞への変化は規則変化・不規則変化動詞に共通して以下のとおりである：

- ・不定詞の語末が a の動詞：-nde を付加 resa <旅行する> → resande
- ・不定詞の語末が a 以外の動詞：-ende を付加 le <微笑む> → leende

ただし ha は havande, bli は blivande となる。なお、現在分詞を形容詞として使用する際は、修飾する名詞の性や数、未知・既知による変化はしない。

5. 終わりに

筆者は大阪外国大学外国語学部在学中にスウェーデン語専攻の学生向けのデンマーク語の授業を受講していた。その授業で新谷俊裕先生が1992年に発表された「スウェーデン語専攻学生のためのデンマーク語簡略文法－音声・語彙・語形変化－」が参考資料として配布され、授業の予習の際に非常に参考になったことを今でも覚えている。そして筆者は本学でデンマーク語の学生向けのスウェーデン語の授業を担当するようになって以来、同じようにデンマーク語学習者向けのスウェーデン語簡略文法をまとめてみたいと常々考えており今回本稿を執筆するに至った。今回はページ数の都合上、そして何より筆者のデンマーク語文法の知識がスウェーデン語のそれと比較するにはまだまだ浅かったため、人称代名詞と名詞・動詞の語形変化を扱うのみにとどまった。本稿を叩き台として用法の解説や用例を加え、扱う文法項目を増やすなど内容を充実させて、デンマーク語専攻の学生がスウェーデン語を学ぶ上で役に立つ簡略文法を作成することを今後の課題としたい。

Ett första steg till ”Svensk grammatik för danskstuderande”

Personliga pronomen samt böjningar av substantiv och verb

Aya Umetani

Sammanfattning

Vid danska och svenska avdelningen vid Osaka universitet ger vi en kurs i svenska för dem som studerar danska som huvudämne. Jag har undervisat på denna kurs i snart fyra år och hela tiden funderat på att försöka skriva en ”Svensk grammatik för danskstuderande”. En sådan grammatik skulle sätta fokus på likheter och skillnader mellan svenskan och danskan och därmed hjälpa danskstudenterna att förstå svenskan bättre. Det kan bli ett intressant projekt för mig att arbeta med, och denna artikel utgör projektets första steg.

Artikeln är speciellt inriktad på den del av svensk grammatik som jag tycker att studenterna först borde känna till för att kunna läsa svenska texter med hjälp av ordböcker, nämligen personliga pronomen, substantiv och verb. Kapitel 1 handlar om personliga pronomen i svenskan. I kapitel 2 och 3 presenterar jag en översikt av hur substantiv respektive verb böjs.

Jag hoppas att artikeln kan vara till hjälp för danskstuderande som är intresserade av Sverige och svenska språket.

参考文献

- Holmes, Philip & Hinchliffe, Ian. 1997. *Essential Grammars: Swedish*. London: Routledge.
- 清水育男, ウルフ・ラーション, 當野能之. 2016. 『世界の言語シリーズ 12 スウェーデン語』. 大阪: 大阪大学出版会.
- 新谷俊裕. 1992. 「スウェーデン語専攻学生のためのデンマーク語簡略文法—音声・語彙・語形変化—」. 近藤達夫編集. 『言語の対象研究と語学教育—平成三年度教育研究学内特別経費プロジェクト研究成果報告書—』, pp.11-54. 大阪外国語大学.
- 新谷俊裕, Thomas Breck Pedersen, 大辺理恵. 2014. 『世界の言語シリーズ 10 デンマーク語』. 大阪: 大阪大学出版会.

梅谷 綾：「デンマーク語専攻の学生のためのスウェーデン語簡略文法」を目指して

菅原邦城, クラース・ガルレーン. 1999. 『スウェーデン語基礎 1500 語』第 3 版.
大阪：大学書林.

Teleman, Ulf. 2013. *Svenska för danskar*. 1. udgave, 3. oplag. Roskilde Universitetsforlag.

インターネット上の辞書・コンテンツ

Den Danske Ordbog: <https://ordnet.dk/ddo>

清水育男, 當野能之, Johanna Karlsson, 梅谷綾. 2010. 『高度外国語教育全国配信システム
スウェーデン語独習コンテンツ』:

<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/swe/index.html>

新谷俊裕, 大辺理恵, Liva Hyttel-Sørensen. 2010. 『高度外国語教育全国配信システム
デンマーク語独習コンテンツ』:

<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/dan/index.html>

Svenska Akademiens Ordlista: <https://svenska.se/>

Svensk-Dansk Ordbog: <https://sdo.dsl.dk/>